

図書館だより

目次

桜のようなアーモンドの花	——白杵 陽	1
日本女子大学叢書の紹介		
奥畑豊著『ビッグ・ブラザーの世紀——英語圏における独裁者小説の系譜学』	——奥畑 豊	2
著作紹介 内村理奈著『マリー・アントワネットの衣裳部屋』		
『名画のドレス～拡大で見える60の服飾小事典～』	——内村 理奈	3
ケルムスコット・プレス版『フロワサル年代記』の見本刷り2種	——川端 康雄	4
ようこそ図書館へ	——佐々木 萌絵	6
図書館という場所	——吉田 有里	6
ようこそ日本女子大学図書館へ		7
「JWUラーニング・コモンズさくら」利用案内		8
4月以降の学外からのデータベース等利用方法の変更について		8



キャンパスの桜

桜のようなアーモンドの花

白杵 陽

2022（令和4）年4月に入学された皆さん、おめでとうございます。目白通りを隔てた図書館を皆さんもすでにご利用されていることと思います。これから自ら学ぶ学修の中で図書館を大いに活用して下さると確信しております。

さて、入学式といえば桜の季節です。桜に関連する話題に少々お付き合いください。私の専門としている中東地域にはイスラエルという国があります。この国の首都はエルサレムで、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教のという三つの一神教の共通の聖地です。商都はテル・アヴィヴといいますが、エルサレムとテル・アヴィヴの関係は日本でいえば、京都と大阪のような関係になります。

実は春になるとテル・アヴィヴという都市名を思い出すのです。テル・アヴィヴはヘブライ語名ですが、「春の丘」という意味になります。20世紀初頭に地中海沿岸に建設された新しいユダヤ人の都市です。それまでは地中海に面した砂浜にすぎませんでした。地中海の東海岸に当たるこの地域では春は雨季で、砂嵐の季節でもあります。砂嵐はアラビア語では「ハムシーン」と呼ばれますが、50というアラビア語に由来します。春の50日間の天気は荒れるということなのでしょう。エジプトのキリスト教徒であるコプト系のコプト語に起源をもつとの説もあります。スタジオ・ジブリの「ジブリ」も、元々はイタリアの植民地であったリビアでは春の山嵐を意味するアラビア語です。

日本では春といえば桜ということになりますが、私がかつて2年間にわたって住んでいたエルサレム周辺では春先になると桜の花によく似たアーモンドの花が咲き誇ります。エルサレムは500メートル近い高地にあり、丘陵地に広がるアーモンドの花は日本の春の桜を思い出してしまうのです。そして、しばらくすると八百屋などの店頭には緑色のアーモンドの実が売られるようになります。実は生のままで食べます。さらに夏前には乾燥させて殻に入ったアーモンドが店頭に並ぶことになります。日本風にいえば、春の季語は「アーモンドの花」になるのかもしれませんが。

イスラエルでは日本文学は翻訳を含めてよく知られています。ただ、日本ではイスラエル文学はほとんど知られていないのが現状です。U・オルレブ『走れ、走って逃げろ』岩波少年文庫、アブラハム・B・イエホシユア『エルサレムの秋』河出書房新社、など、長年にわたって現代ヘブライ語文学を翻訳してきた母袋夏生氏はその意味では稀有な存在といえるかもしれません。日本ではマイナーとみなされる国々の文学作品を読んでみるのも貴重な体験になることでしょう。

（図書館長・史学科教授）

奥畑豊著『ビッグ・ブラザーの世紀——英語圏における独裁者小説の系譜学』

(日本女子大学叢書24)

奥畑 豊

浅学を顧みず、私は2021年に三冊の単著を出版した。*Angela Carter's Critique of Her Contemporary World: Politics, History, and Mortality* (Peter Lang, 『ハロルド・ピンター——不条理演劇と記憶の政治学』(彩流社), 『ビッグ・ブラザーの世紀——英語圏における独裁者小説の系譜学』(小鳥遊書房)がそれだ。一冊目の英文著作は戦後イギリスの代表的な女流小説家カーターを主題にした博士論文、二冊目は不条理演劇の旗手ピンターを扱った論考であり、いずれも特定の作家個人を対象にした研究書である。これらに対して、日本女子大学叢書の一巻として刊行された三冊目は、20世紀の英語圏における「独裁者小説」の書き手たち二十名近くを幅広く論じた著作である。この三冊の探求するテーマは様々であるが、もしそこに何か一貫した問題意識があるとすれば、それは現代世界における文学と政治との複雑な関係性に他ならないと思う。

今日、20世紀をヒトラーやスターリンから旧植民地諸国の指導者たちに至る「独裁者の時代」とみなす政治的・歴史的言説は、日本においてもそれほど違和感なく受け入れられている。また、メディアや言論空間においても、政府の強引な政権運営や官僚の隠蔽体質、歴史修正主義、ナショナリズム幻想などは、しばしば独裁や全体主義、或いは「ビッグ・ブラザー」のイメージと結びつけられている。奇しくもこうした状況の中で細々と書き継がれ(その間、留学のために日本を離れていた時期もあったものの)、2021年にやっと陽の目を見ることになった拙著『ビッグ・ブラザーの世紀』は、そのタイトルの通り英米からアジア・アフリカに至る各地域において描かれ続けてきた架空の「独裁者」表象を、一つの系譜という形で包括的に論じた書籍である。

この本の冒頭にも書いたように、「独裁者小説」といえば、一般的にはラテン・アメリカ文学のサブジャンルを指すことが多い。既に一定の評価が確立した感のあるこうしたスペイン語圏の独裁者文学に対して、英語圏のそれは未だに体系的には論じられていない。そこで本書は、ヒトラーやスターリンをモデルにしたルイス、ケストラ、ナボコフ、オーウェル、ゴールドディングらによる第二次世界大戦前後のテキストを出発点に、英語圏の独裁者小説がジャンル横断的に発展していく過程を追う。当初こそ全体主義国家におけるこうした現実の指導者たちを風刺するものとして誕生した独裁者小説は、次第にファシズム批判やスターリニズム批判といった政治的文脈から切り離されていく。その結果、1960年代から80年代初頭にかけて、ハートリー、ディック、ヴォネガット、カーター、バラードといった書き手たちによって、架空の独裁者像は漠然とした「恐怖」や「悪」の象徴として、(人類が生んだ究極の兵器である核のイメージとも結びつきながら)英米のSFやディストピアン・フィクション、ポストモダン・フィクションの枠内で美学的に再構築される。ところが80年代以降、アップダイク、ナイポール、ファラー、ラシュディ、ナザレス、アチェベ、ウィリアムズらがアフリカやアジアにおける抑圧的指導者たちをモデルにした作品を相次いで発表したことにより、独裁者小説は旧植民地諸国というコンテクストにおいて、再びラディカルな政治的意義を帯び始めるのである。この本の考察対象は20世紀に限られているが、最後に扱うイギリスの作家バーンズの二編の小説は、冷戦終結によって生じた東欧におけるトラウマ的「過去」の清算を巡る問題や、新自由主義体制下における独裁の新たな形式に関する問題など、21世紀の現代社会をも予見させるテーマを扱っている。このように、英語圏における独裁者小説の系譜とは、文学が政治的なものに向き合い、格闘してきたことの軌跡でもあるのだ。

(英文学科講師)

2021年8月発行 小鳥遊書房 292頁 *図書館目白所蔵、請求記号930.27-Oku



著作紹介

内村理奈著 『マリー・アントワネットの衣裳部屋』 『名画のドレス～拡大で見える60の服飾小事典～』

内村 理奈

本学の学生の皆さんのなかには、子どもの頃からドレスやお姫様の世界に憧れていた人も、案外多いかもしれません。私は西洋服飾文化史を専門とし、なかでも、フランスの17世紀から19世紀を中心に研究していますので、日頃の授業においても、華やかな宮廷社会の姫君たちのドレスの文化をお話しています。そのような、ふだん授業で話したり、あるいは話す機会がなかったエピソードも含めて、この2冊は18世紀から19世紀の華麗な服飾文化の粋を語った本になります。

『マリー・アントワネットの衣裳部屋』は、日本でも人気の高いフランス王妃マリー・アントワネットの生涯を、彼女の所有していたドレスや服飾品から繙いた作品です。まさしく、彼女の衣裳部屋を覗き込むようにして、その人生を辿ってみました。また、アントワネットの結婚祝賀花火の陰で起きた大惨事で亡くなった市井のりびとが、実際に身につけていたモノや、アントワネットの衣裳を作るために日々こつこつ働いていた当時の職人たちの姿も描いています。フランス革命直前には、一種の田園趣味が広がり、贅沢三昧と思われがちなマリー・アントワネットが、シンプルな白いモスリンのドレスに身を包むことに喜びを感じていたことにも触れました。さらに、彼女が死後においてもなお、ファッション・リーダーとしての伝説が作られていった過程も描きました。巻末には、アントワネットの衣裳部屋に残されていた240件あまりのドレスのリストを、翻訳して掲載しました。服飾の視点からマリー・アントワネットを描くことで、従来のアントワネット像とは異なる姿に迫ることができたと思っています。

『名画のドレス～拡大で見える60の服飾小事典～』は、18世紀から19世紀のフランスの名画を中心に、絵画に描かれている服飾の細部を、事典のような形で繙いた作品になります。昔の絵画には、身につけているドレスや服飾が、まるで本物のように緻密にリアルに描かれているものが多くあります。そのような細部を部分拡大して見せ、それらの服飾品にまつわる物語を語ってみました。拡大した部分について、フランス語による服飾用語の項目名をつけて、それを事典のように並べ、解説したのです。ですから、服飾事典としても使うことはできると思いますが、エッセイとして好きなところから読んでくださってもよいと思います。コロナ禍の今、なかなか国内外の美術館に自由に行けない状況を考えると、部分拡大のページをつけて、名画の細部を手取るように見ることができるようになりましたので、それだけでも、目に楽しい宝石箱のような作品になったのではと思っています。服飾から絵画を見つめてみると、また新たな世界が垣間見える、そのようなことが読者に伝わってくれたら嬉しく思います。

現代社会では、日本も海外も含めて、衣服は簡単に安価に手に入る世の中になりました。ですから、自分たちの身につけている衣服について、あまり深く考えてみることも少なくなっているかもしれません。ですが、18世紀や19世紀のフランスでは、すべてが時間と手間をかけて作られたハンドメイドで、ひとつひとつが芸術作品のような服飾が姫君たちとともに生きていました。もちろん、ミシンもなく、化学繊維も化学染料もない時代です。そのような遠い昔の美しい服飾たちに目を投じることで、現代に生きる私たちの当たり前の感覚からは遥かにかけ離れた、魅力的で豊かな世界を知ることができるのではと思います。

2019年10月 平凡社発行 308頁 *図書館目白所蔵, 請求記号383.15-Uch

2021年 7月 平凡社発行 255頁 *図書館目白所蔵, 請求記号383.1-Uch



ケルムスコット・プレス版『フロワサール年代記』の見本刷り 2 種

川端 康雄

ケルムスコット・プレス（以下、KPとも略記する）の刊本書目は全53点と数えられるが、そのなかに例外的に「本」としては刊行されなかった書目が1点含まれる。今回取り上げる『フロワサール年代記』の見本刷りがそれである。その書誌データをまず記しておくのと以下のとおり。

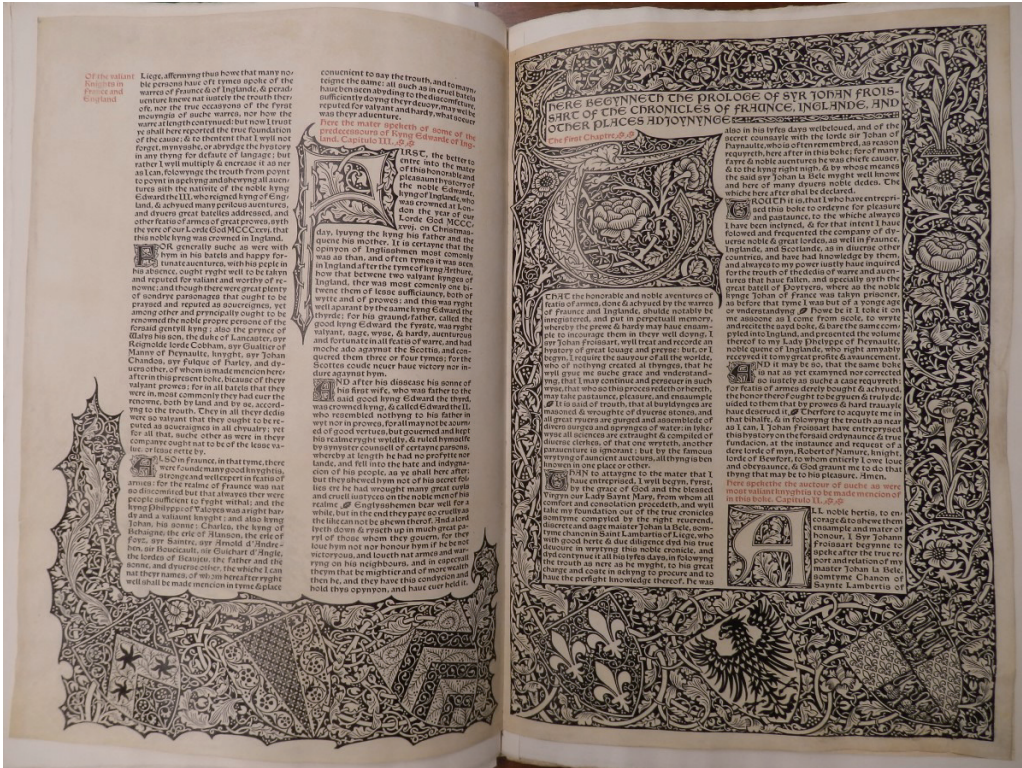
KP 書目第46番『フロワサール年代記』(*Froissart's Chronicles*) 見本刷り。2折判(424×283mm)、ヴェラム刷り。2葉。チョーサー・タイプ(本文)、トロイ・タイプ(見出し)。2色刷。2欄組。160部。コロフォン日付1897年9月。KPより1897年10月7日発売。価格1ギニー。

フランス中世末期の著述家ジャン・フロワサール(Jean Froissart, c.1337-c.1404)の代表作『年代記』(*Chroniques*, 4 vols., 1400)は、百年戦争前半を記録し、中世騎士道の武勲のエピソードを多く含む書として名高い。英訳も16世紀初めに出たバーナーズ脚訳を嚆矢として複数の訳が出ている。モリスにとっては学生時代からの愛読書で(彼は中世フランス語の原書も読めたが、バーナーズ脚訳の1812年復刻版を愛読していた)、チョーサーの『カンタベリー物語』ほかの作品、マロリー『アーサー王の死』と並んで、中世の書物として彼に大きな影響を与えた。具体的にはモリスの第一詩集『グウィネヴィアの抗弁その他の詩』(1858年)所収の「洪水のなかの乾草」ほか数篇のソース(種本)となっている。

KPが1891年に創設されて、『チョーサー作品集』と並んで早い時期から『フロワサール年代記』は刊本の計画に入っていた。1892年1月にモリスのデザインした活字体のひとつトロイ・タイプが鑄造所から出来上がってきたとき、彼は紋章デザイン入りで印刷職人に版を組ませて試し刷りを1ページ作っている。1893年初めにはチョーサー・タイプを用いて2欄組の試し刷りが刷られた。同年3月には『フロワサール』用にデザインした装飾頭文字を友人たちに見せている。さらに同年10月にバーン＝ジョーンズが『フロワサール』のために聖ゲオルギウスその他の大型の紋章デザインを担当しようと申し出た。同年12月1日付のKPチラシでは印刷中で150部刷る予定と記されている。だが『チョーサー作品集』も進行中で、おなじ2折判を同時進行させるのは無理だと言うことで、先送りになった。

この企画はモリスの存命中はずっと生きていて、その完成を彼は楽しみにしていた。1895年に『ブックセリング』誌のインタビューに答えてモリスはこう述べている。「私が印刷したい本は、私が読んでとっておきたいと願う本です。[……] どんな本を印刷しようとも『フロワサール』から得られる喜びの半分も与えてくれないでしょう。これを出せるのは嬉しくてたまりません。実に典雅で堂々とした作品で、印刷所から出て来るページのすべてが何とも言えぬ喜びを私に与えてくれます。これには大変苦心していて、年来の宿願をかなえるべく全力を尽くしています」。おなじインタビューでどのテキストを使うかという質問に対しては、「古いバーナーズの本文にまさるものはありません。すぐれた古い英語で、長く持つものでしょう」と答え、底本とする1812年版は2巻本の4折判だが、KPの復刻版では「完全2折判で2巻本にする予定」だと述べている。だが1896年10月3日のモリスの死去(享年62)により、結局この本は完成に至らなかった。後事を託された秘書のシドニー・コッカレルが1898年春まで印刷所を続けるものの、『フロワサール』については1896年11月に印刷中止を発表している。

KP46番はその未完に終わった本をヴェラムに刷った特製の見本刷りである。題扉はなく、コロフォンに「バーナーズ脚訳フロワサールの企画された版のこれらの試し刷り2頁はウィリアム・モリスの手になるデザインを保存するべく1897年9月にケルムスコット・プレスで印刷された」と記されている。図の右頁が本文冒頭で、もう一枚の左頁に続いている(第3章途中まで。誤植が散見されるがそれは等閑視されたのだろう)。右頁のフル・ボーダーには(左から)フランス、神聖ローマ帝国、イングランドの紋章、左頁のハーフ・ボーダーには(左から)レジナルド・ロード・コバム、サー・ウォルター・マニー、そしてサー・ジョン・チャンドスといった年代記に登場する重要人物たちの家紋があしらわれている。これらのボーダー(右頁では装飾語Toと大胆に融合し、左頁の装飾頭文字Fと同様にマージンにあふれ出している)は優美さと力強さを兼ね備え、他のKP



『フロワサル年代記』見本刷り2葉（ケルムスコット・プレス，1897年）（所蔵：日本女子大学図書館）

本に見られないデザインの新天地を示している。「近世以降の最良の印刷本のひとつとして、『チョーサー作品集』に匹敵しうる本がモリスの比較的早い死によって世界から奪われたことをフロワサルの見本刷りは如実に示している」とウィリアム・S・ピーターソンがその著書『ケルムスコット・プレス——ウィリアム・モリスの印刷工房』（湊典子訳，平凡社，1994年）で述べている。あと数年でも、モリスが元気で仕事ができたらと、返す返すも残念に思う。

市販されたこの特製見本刷りに先立つ1896年12月24日に、版が組まれてあった34頁ほどのうち16頁分が非売品として32部刷られ、今は亡き詩人＝印刷者をしのおよすがとして友人たちに配られた。これを贈られた詩人のアルジャーノン・スウィンバーンは、1897年1月20日にコックレルに宛ててこう書いた。「貴兄からの美しく貴重な贈り物、感謝に堪えません。なぜモリスはフロワサルにもっと早く取り掛かって完成させなかったのでしょうか。それよりも相応しくない作品など刷らないで（例えばシェリー〔詩集〕）。しばしばそんなものでケルムスコット・プレスが無駄に費やされてしまったのです」。

本学図書館のKPコレクションは、この2種の見本刷り（ヴェラム刷りの2葉と16頁の紙刷りの非売品）を併せて所蔵している点で貴重である。さらにこのKP46番にはモリスが友人で建築家のフィリップ・ウェブに宛てた1894年8月27日付の書簡がシート1枚に印刷されて附されている。これはKP本が刊行されるたびにモリスから贈呈を受けることに恐縮していると記したウェブの手紙に答えて、「君に送りたくて送っているのだからつべこべ言わず受け取ってくれたまえ」といった趣旨の返事をユーモラスな筆致で綴ったもので、贈呈されたKP刊本の揃いをウェブが1903年にケンブリッジ大学トリニティ・コレッジに寄贈した際に、その書簡をモリスと縁があったチジック・プレスでゴールデン・タイプを用いてKP刊本のように印刷させ、寄贈本全巻にこれを挟んだのだった。以前の所有者によって欄外に“Given to me by David Peace 2 May 1989”と鉛筆書きで記されている。おそらく余分に刷られた内の1枚が英国のガラス工芸家でロンドン考古協会会員のデイヴィッド・ピース（1915-2003）を経由して本学のコレクションに入ったということなのだろう。（英文学科教授）

ようこそ図書館へ

佐々木 萌絵

みなさんは図書館にどのような時に訪れますか。読みたい本を探しているとき、本を借りたいとき、勉強に集中したいときに使うというイメージがあるのではないかと思います。中には全く本を読まないから、もしくは大学図書館というと難しい本ばかりありそうだから、気軽に立ち寄れないと思う人も多いかもしれません。私自身もあまり本を読む習慣がないので、入学当初は図書館を利用していませんでした。けれども、授業の参考図書を借りるついでに図書館内を見て回ってみると、図書館がとても気持ちの良い空間であることや、知的好奇心をくすぐられる本がたくさんあることに気づきました。

何か調べたいことをとりあえずインターネットで検索するという習慣がある人は多いと思いますが、ちょっとした疑問が浮かんだときに、ぜひ図書館に行ってみることをお勧めします。一つの分類の本の中から探すのではなく、図書館の中をぐるぐると回っているうちに、自分が調べたいことは様々な分野から考えられることに気付いたり、また新たな疑問が生まれてきたりします。私は住居学科の設計課題を考えているときに、建築の専門書だけでなく、美術、環境問題といった様々な分野の本を見てみると、新たな視点から考えることができました。インターネットで調べても答えが出てこないような、明確な答えが決まっていないことについて自分なりに考えたい時に、図書館の本たちは私たちの視野を広げたり、大きなヒントやアイデアを与えてくれたりすると思います。

そして何より、日本女子大学の図書館はとても気持ちよく開放的な空間が魅力です。特に4階の閲覧席からは大きなガラス張りの窓を通してキャンパス周辺の風景を楽しめます。晴れた日には大きな青空がよく見え、この景色があまりにも気持ちが良いので、私はつい課題を進めるのを忘れてずっと眺めてしまいます。

このように、何かを学びたい人も、特に目的がなく立ち寄って外を眺めているだけの人も、さまざまな過ごし方の人をこの図書館は受け入れてくれます。何かを学びたい時でも、ちょっと休憩したい時でも、ぜひ気軽に図書館へ立ち寄ってみてください。(住居学科・1年次学生)

先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★先輩からひとこと★

図書館という場所

吉田 有里

皆さんは大学図書館にどのようなイメージを持っていますか。大学図書館は専門的な資料や難しそうな本がたくさん置いてある場所、何となく入りにくい場所と思っている方もいるかもしれません。私も入学当初は、あまり気軽に行く場所ではないと考えていました。しかし、図書館には専門的な本のほかにも新聞、雑誌、小説、料理本、懐かしい児童書や絵本などがあります。気になった方はどの階にどんな本があるのか見て回ることをお勧めします。私も図書館でアルバイトをしているときに、気になった題名や面白そうな本を見つけたらその場所を覚えて、アルバイトが終わったらその本を読んだり、借りたりすることを何回かしたことがあります。本を借りる予定がなくても見て回るだけで新たな本に出会い、皆さんの興味が広がるかもしれません。

図書館は興味や知識を広げ、得ることができる場所でもありますが、私はゆっくりしたいときなどよく利用しています。私は4階の自習スペースがお気に入りです。天気がいい日だと大きな窓からきれいな青空を見ることができ、とても開放感があるため、心が落ち着きます。

図書館は本を借りるという場所でもありますが、皆さんの勉強に役に立つ場所でもあります。私は図書館にあるパソコンでレポートを書いています。各階にパソコンが設置されているため、USBを持ち込めば大学にノートパソコンを持っていかなくてもレポートを書くことができます。図書館はWi-Fiが完備されているため、ノートパソコンを持ち込んで行うこともできます。また、パソコンがある席は壁側に沿ってあるため、1人で集中して取り組むことができます。自習スペースの机もコロナ禍ということもあり1人が1つの机を使うことができるため、他の人を気にすることなく利用することができます。

ここ数年はほとんど遠隔授業だったこともあり、図書館に訪れる機会が少なかった方も多いと思います。だからこそぜひキャンパスに来たときには本を借りる予定がなくても立ち寄ってみてください。興味がないジャンルの本であってもその隣の棚にある本が皆さんの興味や課題の役に立つ本となるかもしれません。(文化学科・1年次学生)



ようこそ日本女子大学図書館へ



本学の学生・教職員・卒業生など利用資格をお持ちの方は当館を利用できます。ただし、現在は新型コロナウイルス感染症への対応のため本学の学生・教職員対象の限定開館を実施中であり、今後についても状況次第となりますので、当館ホームページを随時参照してください。

日本女子大学図書館ホームページ URL

< Web サイト > <https://lib.jwu.ac.jp/>

< 携帯サイト > <https://lib.jwu.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

< モバイルサイト (スマートフォン対応) >

App Store, Google Play ストアから「Ufinity」と検索してアプリを入手できます。

「Ufinity」の中から「日本女子大学図書館」を選択設定してください。

日本女子大学図書館 Twitter URL https://twitter.com/JWU_Library



初めて当館を利用する方は、学生証・教職員証を持参の上、2階（エントランス階）カウンターに申し出てください。1, 2年生は学生証のバーコードを図書館システムに登録し、それ以外の方には利用カードを交付します。学生証及び利用カードは本人のみ有効です。



当館は開架式です。資料は、和書、洋書、雑誌、参考図書、大型本など、その性質や形態によってまとめて配置されています。書名、著者名、キーワードなどが分かっている時は、当館ホームページのOPAC (Online Public Access Catalog : オンライン目録) で本学の蔵書を検索し、配置場所と請求記号を調べましょう。配置場所が西生田保存書庫の資料は図書館へ取り寄せて利用できます。

館内には、常時起動状態ですぐに学術情報を検索できるOPAC端末と、学術情報検索に加えてWord, Excel, PowerPointやOffice365を利用できるJASMINE端末があります。JASMINE端末には貸出ノートパソコン（館内限定）もあります。全フロアjwu-wifi利用可です。

貸出には図書と登録済学生証または利用カードを2階カウンターへ持参し、必ず本人が手続きしてください。図書を延滞すると延滞中及び延滞日数分貸出停止になるので注意してください。

当館ホームページからMy JWULIS (Japan Women's University Library Information System) も活用しましょう。利用状況の確認、貸出更新、OPACの検索結果から予約（貸出中図書予約、西生田保存書庫保管図書取り寄せ）、検索結果・検索式の保存を行うことができます。

資料の検索方法がわからない、必要な資料が見つからないという時は、2階カウンターの隣にある参考係に相談してください。皆さんの必要とする文献や情報を探し出すサポートをします。

最後に、当館は学習院大学図書館（2009年11月1日施行）、お茶の水女子大学附属図書館（2011年11月1日施行）、跡見学園女子大学図書館（2013年11月1日施行）と図書館相互利用協定を締結しています。現在は利用停止中であり、今後も状況次第となりますので、当館及び各大学図書館ホームページを随時参照してください。

(館員・閲覧係 中澤恵子)



図書館2階「JWUラーニング・コモンズさくら」利用案内

図書館入館ゲートを入れて直進すると低書架の先に広がる場所、そこがJWUラーニング・コモンズさくら（以下さくら）です。百二十年館地下1階JWUラーニング・コモンズかえでと共に、キャンパスにおけるネットワーク型ラーニング・コモンズとして、それぞれ特色のある役割を担います。

さくらでは、図書館の資料やデータベースを自由に使うさまざまな学修活動ができます。総座席数は74席、可動式机・イス・ホワイトボード、電子黒板、インタラクティブ機能内蔵プロジェクターやモニター付大型テーブル席、可動式プロジェクター、80型ロールスクリーン、書画カメラなどを備え、ノートパソコン、モバイルプリンターを貸出します。各種機器類の貸出・



利用方法については2階カウンターで案内します。学修相談席では、学科・専攻推薦を受けた本学学生（大学院生、学部上級生）のラーニング・サポーターに学修相談ができます。ミニ講座も随時開催します。

サポーターの専門分野やミニ講座開催日時は当コモンズ内の掲示、図書館ホームページ、図書館Twitterで確認できます。

日本女子大学図書館2階
JWUラーニング・コモンズさくら オンラインミニ講座

レポートの書き方講座

レポートを書く時、どこに注意したらいいかわからない。そんなことはありませんか？
本講座ではレポートの基礎を参考図書をもとに学んでいきたいと思えます！

日時：2021年12月22日（水）12：40～13：10
講師：ラーニング・サポーター（史学専攻M3）
対象：本学学生・教職員
参加方法：右のQRコードもしくは図書館HPの当ミニ講座お知らせからお申込みください。

2021年度オンラインミニ講座開催例

（館員・閲覧係 中澤恵子）

4月以降の学外からのデータベース等利用方法の変更について

自宅など学外から、大学で契約しているデータベース、電子ジャーナル等を利用する場合は、EZproxy利用は2022年3月31日で終了し、4月1日よりVPN利用のみに変更になります。VPN利用は2021年11月10日から開始しています。

VPN利用には、図書館のホームページ「オンライン・データベース」のページの上部「学外アクセス（VPN）」、または「VPNサービス」をクリックし、「学外からの図書館オンラインデータベース利用手順」に従って、設定を行ってください。VPN接続後は、「オンライン・データベース」のページに「VPN」と表記のあるデータベース等は、データベース名をクリックすれば、学内からと同様に利用できます。学内から利用できるほぼすべてのデータベース、電子ジャーナル等も利用できます。Maruzen eBook Library（電子ブック）もOPACの検索結果から直接利用できます。どうぞご活用ください。

編集後記 白杵館長の巻頭言は本号が最後となります。館長として3期6年、変化の激しい時期に様々なことにご尽力いただきました。在職中の最大の出来事は新図書館の建設・落成とキャンパス統合による西生田図書館の移転でした。長きにわたるお力添えに深く感謝申し上げます。図書館は今年度もコロナ禍のため利用者限定で開館しました。先行きが見えない状況の中、利用者の方に自由に来館いただける日が早く戻ることを願っています。巻頭の写真はどのような状況でも毎年美しい花を咲かせてくれるキャンパスの桜。
2021年度編集委員：飯山智子、水嶋寿恵、南木香織（飯山）